

KBI NEWS



〒630-0266
 奈良県生駒市門前町 22-1
 TEL: 0743-70-8600
 FAX: 0743-70-8601
 編集・発行人：大田裕作
 郵便振替：01140-6-67708
 銀行：尼崎信用金庫上ヶ原支店普通 0015453
 Eメールアドレス：kbi-mark117@ares.eonet.ne.jp
 ホームページ：http://www.kbiwave.com

強くあれ、雄々しくあれ
 ー危機は飛躍の機会となるー

KBI副理事長

小山 大三 師



「わたしはあなたに命じたではないか。強くあれ。雄々しくあれ。恐れてはならない。おののいてはならない。あなたが行くところどこでも、あなたのおののいたがあなたとともにいられるのだから。」(ヨシユア一・九)

スンベリ師ご夫妻が学院長を辞任し帰国されて以来、一九七九年より高橋昭市学院長と我喜

屋光雄理事長の下、西宮においてKBIは成長して参りました。一九九〇年代に入り、理事会の一大懸案事項は次期学院長のことでした。高橋学院長の退職が近づく中、理事会では祈りが積みまれましたが、なかなか相応しい候補が見出せませんでした。一九九五年の阪神・淡路大震災でKBIの建物は被害を受け、大きな修理を余儀なくされ、その後も理事であった宣教師たちの退職と帰国、財務担当の蒲田牧師の召天、我喜屋光雄師の病氣療養などが続きました。高橋学院長に職務を延長していただく中、一九九九年、遂に大田裕作先生が学院長候補として浮上し、インドネシア宣教師としての任を終えられた二〇〇〇年より大田学院長ご夫妻にバトンが渡されることとなりました。我喜屋光雄師の召天に伴い、二〇〇一年より豊村善典師が理事長に就任され、理事会の顔ぶれは変わりました。KBIの建物は、外見は問題ないように見えますが、震災を経験した上に四〇

年の年月が経っており、建て替えを検討しなければならぬ状態でした。いろいろな意味で、KBIは危機の時代にありました。しかし、主は生きておられます。新しい大田学院長ご夫妻と豊村理事長のリーダーシップの下、KBIの危機は飛躍の機会となり、在校生、卒業生、諸教会の皆様の祈りと支えを受けて二〇〇五年、生駒に発展的に移転することができました。その後の祝福と発展は、皆様が良くご存じのとおりです。

今またKBIは新しく変わろうとしています。来年三月に大田学院長ご夫妻が退職され、四月より新たに高橋めぐみ学院長が立てられます。新学院長とスタッフ、そして福野正和師を理事長とする理事会にとっても、これは大きなチャレンジです。このチャレンジがさらなるKBIの飛躍につながり、日本宣教と世界宣教の大いなる拡大に寄与することができるよう卒業生、諸教会の皆様のお祈りをお願い致します。

世界宣教大会 9月16日 主催 福音宣教協力会

関西聖書学院副院長

高橋 めぐみ師

福音宣教協力会主催（アンテオケ宣教会協賛）で世界宣教大会が神戸キリスト栄光教会にて行われ、KBI生も全員参加しました。会場には諸教会から二百名弱の世界宣教への関心と、熱い心を持つ人たちが集まりました。講師はインドネシアよりパムジ師。ジャカルタにあるワールドパートナーズという宣教団体の創立者です。

午前のセッションでは、「地のすべての部族は、あなたによって祝福される」というアブラハムへの約束（創世記十二・三）は「あらゆる国の人々を弟子とする（マタイ二十八・十九）」ことと「その名によって、罪の赦しを得させる悔い改めがあらゆる国の人々に宣べ伝えられる（ルカ二十四・四十七）」ことによって成就されると語られました。この四千年前の神の約束を私達が忘れることがないようにチャレンジされました。

午後のセッションは世界宣教

の戦略についての視点からでした。世界宣教がまだ達成されない原因は、クリスチャンの少数派症候群、教会の内向的視点、教会中心・成功中心思考、忙しさなど、クリスチャン自身に原因があると語られました。私達は世界宣教の達成にフォーカスして、それぞれ与えられている役割を果たしていこうと決意を新たにされました。KBI生は、この大会の後にもパムジ師より特別講義やメッセージの恵みをいただき、宣教へとさらに心が燃やされています。



特別講義 「イスラム宣教への神の御心」

一年 菅沼 聖化

今までイスラム教徒の人達をイシュマエルに対しての神様の計画、祝福という視点で考えたことがあっただろうか。この度特別講師として、インドネシアの宣教団体のリーダーであるパムジ先生をKBIにお迎えした。イシュマエルの子孫に対する、爆発的な回心（祝福）を神様は用意していると語ってくださいました。現在、イスラム教徒をメイスターゲットにした宣教師は全体の五パーセントしかない。

パムジ先生は「イスラム圏の国でクリスチャンになった宣教師が、イスラム民族へ派遣されると大きな祝福をもたらす」と話された。またキリスト教がマイノリティーである日本が宣教に重荷を持ち、インドネシアの若いリーダーに宣教を語ることは、インドネシアにとって大きな励みであると言ってくださいました。

私自身、世界宣教大会から引き続き多くの励ましとチャレンジを受け、本当に感謝である。今回、自分自身の神様への献身

の思いをもう一度改めさせられた。一度しかないこの生涯をどの様に神様に用いていただくのかを突きつけられた時に、私の心に思い浮かんだ御言葉はローマ十四章八節だった。「私たちは、生きるとすれば主のために生き、死ぬとすれば主のために死にます。ですから、生きるにしても、死ぬにしても、私たちは主のものです。」どんな用いられ方でも良いから自分自身を献げたいと願った時の事を再び思い立たせてくれた。



パムジ師とKBI生

実践神学セミナー ― LGBTQ

理事・教師

ジャン・ドウゲン

随分前から始まった問題ですが、二〇一五年の米国最高裁の判決によって同性婚が合法化され、一気に同性愛の受け入れが進んできました。そもそもLGB B T Qとは、レズビアン、ゲイ、バイセクシユアル、トランスジェンダー、クィアの省略ですが、男女の同性愛及び女装、男装な



藤田圭子師

ど伝統的な性概念から逸脱した様々な行いを表すものです。かつてはそのような行動は、キリスト教界に限らず、社会全般において「不健全」や「不道徳」と見なされましたが、アメリカを中心とする熱烈な市民運動によってそれらのライフスタイルは広く市民権を得るようになりました。その三本柱は、同性愛は生れつきのもの、努力して変えられるものではない、従って同性愛の受け入れは人種問題と同じく人権問題である。今日ではその三本柱はアメリカ教育の現場で定着しています。その結果、社会への影響は相当なものであり、拒絶から受け入れ、受け入れから賛同へと変わってきました。また、この社会変化の「津波」は教会にまで押し寄せてきており、牧師たちを始め、多くのクリスチャンに戸惑いを及ぼし始めています。もはや、避けて通れる問題ではなく、今回のセミナーを企画することを理事

会が決定した次第です。

セミナーの講師として、以前から様々な場面で青少年の「性」の問題を取り扱ってこられた藤田圭子師に来ていただくことになりました。藤田師は、日本の実態を紹介し、同性愛者としての生活に魅かれる人の心境を探りました。背景にある家庭問題及び、虐待や性的体験による傷の実態に明かりを照らし、同性愛ライフスタイルは、結果であり根本的な原因ではないということを論証しました。同時に藤田師は、同性愛のライフスタイルが、人にもたらす様々な支障を紹介しました。性病、うつ病、自殺願望など心身ともに病んでしまうことです。極端な場合は、本人は性転換手術を希望しますが、身体的に変わっても、男女の本性を完全に変えることができなないので、術後のうつ病や自殺症例が多いとのことでした。

セミナーの後半では、藤田師は教会の姿勢について語りました。先ずは、同性愛は、紛れもなく罪であると断言しました。しかし、全ての人は等しく罪人

であるので、この罪だけを特別視すべきではないということも強調し、教会は愛を持って同性愛問題で悩んでいる人を受け入れることが大切であると指摘しました。イエス様にはどんな罪をも赦し人を解放する力がありますが、私たちは赦された後も誘惑との戦いや失敗を犯す可能性があります。ですからクリスチャンは、同性愛のことで悩んでいる人を裁くのではなく、忍耐を持ってそのライフスタイルから抜け出ようとしている人を助ける必要があります。そのプロセスは、場合によって五年も十年もかかることがあるためこの働きには召命が大切です。また、この働きに臨むクリスチャンは、できるだけ夫婦として取り組むべきだと思われれます。

セミナーは今後の教会の姿勢作りや同性愛者への伝道のために大変有益なものでした。願わくは、主の恵みと知恵が教会の上に注がれ、虜になっている一人でも多くの方が、キリストにある自由と解放を体験できますように心から祈るばかりです。

一学期 宣教ウィーク報告

三年 金沢 晃

準備の段階から不信仰と不安が私の心にありました。福音を伝えた後のアフターケアはどうするのかという方法論にこだわる自分もいれば、どのようしたら福音を届けられるのかという恐れや不安が私の心を捕らえていたのです。イエス様が私のために十字架にかかって下さった事実立ち返る時、平安が心の中心にあることに気が付きました。しかし現実には過酷でした。何件訪問しても実らず、私たちは心の奥深くにある平安を祈りを持って握り直す日々でした。体力も限界になり、最終日前日にもうダメだと思った時、私たちは心一つになって主に叫びました。その時主が働かれたことを感じました。その場にいた四人が主の臨在に触れられ、私たちに平安が帰ってきたのです。その日、私たちの想像を超えた奇跡が起きました。二百件以上の家を訪問する中で、最終日に訪問した一人の女性が、私たちの拠点だった教会に来てくだ

さり、共に礼拝を捧げたのです。私たちは主の真実さに感動しました。涙を持って種を蒔き、喜びながら刈り取るという御言葉を体験したのです。私は後になって気付いたことがあります。宣教は聖霊の働きなしでは何一つ進まないということです。あの時私たちが主に助けを求めて祈らなかつたら、私たちは刈り取ることはできなかつたと思います。



奉仕先教会の皆さんと

一年 葛西 隆憲

六月の最終週に近畿地方の未伝地に出て行き、訪問伝道をしました。KBIでも初めての試みということで、様々なケースを想定し準備を進めました。沢山の方々に福音を伝えるためにKBIに入学しましたが、いざ出て行くと、自分の弱さを知るときとなりました。

一カ月前から毎日チーム毎に祈り会を開きました。福音を聞いたことのない方々が滅びから救われますように。闇から光に、サタンの支配から神様に立ち返ることができまますように。イエス様が失われた者を捜し救うためにこの世に来られたように、私たちも主の御心を心とすることができまますように。弱い私を恵みによって強くしてくださいと祈りました。

いざ、未伝地へ。そこでは居留守や門前払いを経験。しかし、福音を聞いて下さる方や私たちの救いの証を聞いて下さる方、共に祈ることを受け入れて下さった方、また共に賛美してくださった方がいました。そして、

信仰告白をされた方も！

私たちを遣わして下さいったことを主に感謝しています。私たちは喜びに満たされ帰ってきました。大きな実を結んだわけではないかもしれませんが、種蒔きはできました。

今回の未伝地伝道を通して一番心に残ったのは、未伝地への思いです。主がこの未伝地に出て行くように背中を押して下さいと受け取っています。私達が出て行くとき救われる人が起こされるのです。



信仰告白された女性の方と

組織神学特別講義 終末論

二年 岩佐 光

十月二十九日から三十一日まで、坂井純人先生をお招きしての講義がもたれました。先生自ら三日間で学ぶには時間が足りないと言われたように、全てを網羅し理解したとは言いがたい部分もありますが、新しく得た知識や、これまで聞いたことのある言葉や考えが掘り下げられ、濃厚で充実した学びとなりました。終末思想の考えは世の中に宗教の数ほどあり、これまでのキリスト教の歴史を通して異端とされている考え方もあれば、キリスト教の中で正統的な考えとされているものもあり、一つひとつが典型的に説明されました。終末という言葉が聞かれるときに一般的には未来論のような感覚が先行してしましますが、終末論とは創世記から黙示録までの聖書全体を通して見ることの出来る、過去・現在・未来を含めたものとして理解していくという新たな視点が与えられま

した。創造は終末を含むものであり、終末は創造の完成であるということ、創造と終末とは両極端にあつて離れたものではなく、主が「わたしはアルファでありオメガである」と言われたように繋がっていることを理解しました。私たちとイエス・キリストの結びつきが、終末論の全体を貫くものとして繰り返され語られました。御子の似姿に変えられる完成に期待し、御声に応答する信仰者の歩み方を改めて考えるときとなりました。



坂井純人師

こうやって学んでいます

一年 佐々木 有美

私は、本科一年コースで学んでいる佐々木有美と申します。二〇一六年四月に私たち家族は、青森バプテスト教会の祈りと暖かい支援の中で、生駒に引っ越ししてきました。それから三年間は夫（ナ・テイル）がKBIで三年コースの学びに励む傍ら、私は専らKBIの家族寮で子育てと家事に追われる日々を過ごしていました。そして今年三月の夫のKBI卒業後、四月からは立場が入れ替わり、私が神学生となり夫が主夫業をすることになりました。子どもたちも長男は小学一年生、次男は幼稚園年少に進学し、慣れない新生活の慌ただしさの中で神学校生活がスタートしました。最初は、慣れるまで色々な大変さがありました。しかし多くの方々の祈りや励ましに支えられ、また日々の学びの中で、真実な主が御言葉と聖霊によって霊的癒しや力を与えて下さっていること、今

日まで恵まれた学びの時間が続けられていることを、ただ感謝するばかりです。自身の弱さや至らなさを痛感する毎日ですが、イエス様の十字架の贖いによって罪赦され、神の子とされている恵みに立ち続けること、そしてこの平和の福音の訪れを待っている色づいた畑を見据えて祈り、御霊により頼んで前進していくことの大切さを学ばせていただき感謝です。



と家族

KBIを覚える日

いつもKBIを心に留めて祈り支えて下さっている皆さま、心から感謝いたします。私たち学生は、多くのお祈りと尊い献金によってKBIでの生活が守られ、訓練を受けることが出来ています。二〇〇一年より十一月の第二日曜日を中心とし、全国のお招きいただいた教会に学生が派遣され、共に礼拝を捧げる時をもっていきます。今年は十五の教会に学生が、十九の教会に理事・教師が遣わされました。学生の中には、この日に初めての奉仕にチャレンジする者もいます。任された奉仕に緊張感を覚えつつも、将来の成長のために新たな領域へと広げられる素晴らしい訓練の時となっています。私たち学生も、新たな出会いを喜び、派遣先教会から献身者が起こされることを心から願っています。主に贖われたこの生涯を、共に主のために捧げて参りましょう。

【学生派遣先教会】

小浜キリスト福音教会・三方伝道所

ベテル清水教会

京都オンヌリ教会

須磨自由キリスト教会

ブンキョーゴスペルセンター

八尾福音教会

大和あがないの丘キリスト教会

横須賀クリスチャンセンター

八尾南福音教会

西宮福音教会

三田グレイスチャペル

神戸フィラデルフィア教会

グローリーチャーチ

東京グレイス福音教会／プレイズチャーチ

園田チャペル

堺シオン福音教会



【理事・教師派遣先教会】

東京チャペル (大田裕作師)

大阪一麦教会 (大田裕作師)

桜台恵み平安キリスト教会

(大田裕作師)

大阪西成教会

(マーク・マゲヌソン師)

西宮福音教会 (吉田隆師)

東名古屋キリスト教会パークサイドチャペル (道本純行師)

和歌山福音教会 (北秀樹師)

ゴスペルライフ (李守師)

箕面福音教会 (佐々木拓也師)

多聞福音教会 (福野貴嗣師)

千代田福音教会 (林田裕樹師)

ゴスペルチャーチ千里

(福島敏雄師)

鈴鹿キリスト福音教会

(大田伯子師)

浜松汀キリスト教会

(大田伯子師)

香芝ゴスペルチャーチ

(高橋めぐみ師)

岐阜純福音教会 (高橋めぐみ師)

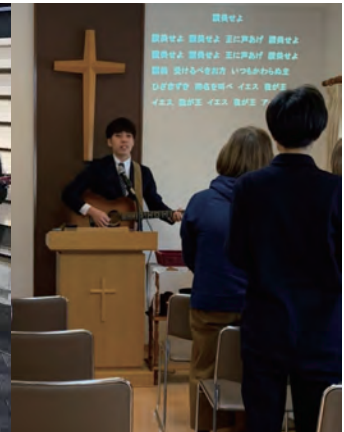
瀬戸サレム教会 (小山大三師)

岡山チャペル (豊村泰師)

名古屋グレイスキリスト教会

(窪寺俊之師)

(窪寺俊之師)



こうやって仕えています

Go into ユースバスター 多聞福音教会

吉川 大師

「Go into」とは、KBIで学んだキーワードです。地域の必要に応え、地域の中に入っていく時、「教会」として活動することに躓きと壁を感じ、「Salt of the Earth」という任意団体を立ち上げました。これを母体に子ども食堂を開くとフードバンクや自治体、企業からの食料支援、助成金を受けやすくなり、地域からのボランティアも起こされました。宣教が目的ですが、福祉的な活動に対して必ずしも教会内だけの経済やスタッフに拘らなくても良いと思えました。現在、自治会長をしています。各団体長が集まる定例会では三十代は圧倒的に若く、重宝がられ、学校の校長や地域長との関係を築くことができます。毎年地域全体の夏祭りがありました。が、事情があり二年間開催されませんでした。主催していた協議会は、再び作り上げる力がなく諦めていました。地域には教

会の他、児童館、青少年育成協議会の二団体が主に子ども達への取り組みをしています。この二つの団体に声をかけて委員会を立ち上げ、地域全体の夏祭りを再開しました。教会メンバーがブースをだし、会の中心となりました。地域が敬遠する働きの中に「Go into」していくきっかけが多くあると実感しています。今後もこのような活動を通して地域の方々が「天におられる父をあがめるようになるために」仕えていきたいと願っています。(マタイ五・十六)



左:吉川潤(父) 右:吉川大

ご献金感謝します

献金者名簿 (日付順・敬称略) (2019.5.16 ~ 11.10) (KBIへの直接献金分)

■一般会計献金

<KBIを支える会>

個人:宮谷泉、大田裕作、安黒務、黄金井尚美、門谷院一、斎藤邦夫、兼松道子、豊村善典、伊達山洋子、安野清子、石崎政登、増永弘、山田裕一、上田絢子、渡辺とも子、岩本美保、井野葉由美、安食弘幸、福元玲子、馬場昭・喜久美、高橋めぐみ、林田清隆、真島義典、岡本哲二、高橋昭市、熊本直美、菅沼威、前川美恵子、塚原利喜男・真理、田中憲昭、上坂進、松本亜紀子、藤井三紀子、鶴野英子、橋本邦光・愛、紙野雄平・賛美、山本篤、カール・ラウヴォス、フレッド・ハンセン、秋元清友、中坊久行・洋子、笠原ナミ子
匿名希望(自由献金箱への献金)

教会 & 団体:小森野キリスト教会、狭山福音教会、堺福音教会、京都シオンの丘キリスト教会、八尾南福音教会、旭川神愛キリスト教会、西可見キリスト教会、奈良福音教会、垂水福音教会、千代田福音教会、鈴鹿キリスト福音教会、可見福音教会、山の辺キリスト教会、尾上聖愛教会、チャペル犬山、北広島チャペルキリスト教会、けいはんなキリスト教会、カナン・プレイズ・チャーチ、東京チャペル、美浜バテルキリスト教会、生駒福音キリスト教会、ゆうあいちゃべる、西宮福音教会、香芝ゴスペルチャーチ、ゴスペルチャーチ千里、浜松汀キリスト教会、Home Coming 賛美集会

<運営支援献金>

フィラデルフィヤチャーチ(アメリカ)、美濃グレースチャーチ、岐阜純福音教会、保土ヶ谷純福音教会、御殿場純福音キリスト教会、鶴見純福音教会、バタニヤ・クリスチャン・アッセンブリーズ、岐阜純福音大森チャーチ、ジャパン・ベサニー・ミッション、日本福音教会(JEC)、小松バタニヤ福音教会、岐阜ライフチャーチ

<特別献金>

1.建設基金献金

個人:春名裕
教会 & 団体:岐阜純福音教会、秦野クリスチャンセンター

2.その他

個人:後山慎治
教会 & 団体:八木山聖書バプテスト教会

「KBIを覚える日」献金(11/11以降の献金については次号掲載します。)

野崎キリスト教会、大阪日本橋キリスト教会、泉南福音教会、浜松汀キリスト教会、東京チャペル、鈴鹿キリスト福音教会、八尾福音教会、北鈴蘭台教会、深草キリスト福音教会、香芝ゴスペルチャーチ、多聞福音教会、千代田福音教会、横須賀クリスチャンセンター、大和あがないの丘キリスト教会、東京グレイス福音教会、東京グレイスプレイズチャーチ、堺シオン福音教会、京都オンヌリ教会、桜台恵み平安キリスト教会、小浜キリスト福音教会、園田チャペル、ブンキョーゴスペルセンター、箕面福音教会

■奨学基金献金

個人:出原市子、竹川正英、芝蓮代、在原繁、大和田愛子、中村典子、森本裕・真実、長谷川みちる、福嶋康子、森敏・雅子、饒平名知賢
教会 & 団体:伊勢崎神愛キリスト教会、チャペル犬山、犬山キリスト純福音教会、バテル清水教会

※KBIへの直接献金分のみ記載しています。各団体に献金して下さっている場合、教会名でなくその団体名を記載しています。どうぞご了承ください。



新入生募集

短期コース (3 週間)

70,000 円

本科コース (1~3 年)

入学金 50,000 円

年間 660,000 円

宣教師訓練コース (MTC)

教会開拓・刷新コース (CPRC)

通信教育コース

TEL:0743-70-8800

FAX:0743-70-8601

HP <http://www.kbiwave.com>

● O B ・ O G 通信 ●

○結婚おめでとうございます。

六月二二日

西川牧雄師と杉山泉姉

八月一九日

紙野雄平兄と福澤賛美姉

九月二八日

叶野俊之兄と秋本莉世姉

十月一四日

山下裕司兄と藪内祐衣姉

十月二二日

鈴木孝紀師と柏崎静子姉

○就任おめでとうございます。

山下聡子師

堺シオン福音教会の主任牧師

に (四月)

● 花壇 ●

八尾福音教会の市木姉、松本ご夫妻が今年も植栽くださいました。

